

激して終身に承認することから来ぬ、完全なる資本家の奴隷に
なり限り終るか人馬やあり以上反抗し起つのは当然の結果では
ない。然るに終身が一たび起つて過去に於ける會社の執つた
一切の醜惡、慘酷なる行爲を天下に暴露し世人の同情と同志の
白熱的援助を受けよや會社は自己の招いた惡業を陰蔽し、
よ好手敵をもちて終しを苦境に陥れんとしつゝあるのみ。

先づ彼等の執つた手敵はそれは何であつたか終しの國を統束する
破産か破産に帝國製糖株式協会の元會員にして、會員中より
集めた零細にして、血の滲む一千數百円と云ふ莫大の金を
着服して除名され醜名を天下に轟かせた、宮崎寛を先とし
「ストライキは解決したから……」と云つて善良なる職人を購
着し、巖王破りの職理に供えんと時に擲出しをやり既に入社した職

人か除名に及らぬ。

多れと共に會社は保護士會・新會長七ある、各社民を擁護として其
の敏活なる指揮を仰ぐであらう、一團の交際すべき、若し保護士は社長
にかはつて面談して會社の状況等を承知出来ぬとすれば應答の要
なしと一蹴し労働立法の何であらうと組合の何であらうと、労働
者に産主の常供、勝手だから好きにやりなさいと暴言を吐いて、
とせぬものがある、會社はさうした以外に因ら、自己一個人の當然抱
いた惡徳の報復を防止するため、人民の時方であらう、一可き官憲に其
備させ、それには足らぬと、暴行圖を産入して社長的身辺を擁護しつゝある、
然し何から會社の墮落及び崩壊の業か如何であらうと、事案圖に集る全國労働者の
應援は日増しに白熱化し、身謀資金は幾千円を數へる状態を存つた、
近日會社は所長諸君より「時と早くと事案を解決せよ」と云ふ決議を突きつけ
られたに拘はらず、経費負担と交際を削減して、激意を示さうとせし、遂に事件を糾